

e-ビーフNEWS 北の牧場から

August 2016

十勝の夏

夏が来ません。7月に入っても曇天・雨続きでお日さまの顔を忘れてしまいました。どうなっているんでしょう？このままでは6-7月の日照時間が観測史上最悪の記録になりそうです。気温も上がってきません。朝15℃前後、日中でも20℃前後。5月の30℃超しの日々がウソのようです。

畑が大変。主産物の小麦が獲れません。受粉期の天候不良に加え収穫期を迎えたこの時期に雨続きでは…。畑のトウモロコシや豆類、葉物にも生育不良、今のところ根物(ジャガイモなど)はまだましかも。低温多湿で病気蔓延の心配があります。

畜産にとって大切な牧草収穫も多大な影響が出てきています。昨年良質の乾草が獲れたのに今年は、雨当たりと刈り遅れでGサイレージ化にせざる負えない状態です。

先日、関東も1週間遅れの梅雨明け宣言。十勝も待っていますっ～



活動のお知らせ

各会員へ第17回通常総会資料送付

11月11日(金) 北海道畜産公社 第4回北海道肉専用種枝肉共励会開催

とかちプラザ 第13回資源循環型肉牛生産シンポジウム2016開催

NEWSばか読み

- パナマ運河 拡張工事完成 大型船就航可能 6/26:EUが近くなる
- JA長野 酪農家のET子牛出産時に引き取り哺育育成へ 6/27:最少事故率
- 野菜、寿司、サンドウィッチをホームパーティでケーキ仕立てに 6/27:焼肉も
- ワタミ 居酒屋を一部唐揚げ鶏料理の専門店化へ模索
6/27:居酒屋ニーズも変貌
- 地理的表示開始1年 価格押し上げに効果鮮明 6/29:地方創生活用
- 森下仁丹 生乳の機能性プラスでαリノレン酸添加飼料開発
6/29:移行性があれば興味
- 農林水産省 牛白血病感染率35%深刻 6/30:BSE、口蹄疫の次か白血病
- 農林水産省 農産物のセシウム汚染5年で急激に低下 6/30:クリーン化宣言?
- 農林水産省 和牛モモバラ肉のカット技術海外に普及活動
6/30:料理方法も必要では
- 鹿児島 酪畜近レポート 25年目標和牛繁殖6,300頭増頭
7/1:南北増頭に走る
- 6月台風発生がゼロ 18年ぶりエルニーニョの影響
7/1:被害なくても気象変動
- 鳥取県 和牛産肉能力の推定にゲノム育種価活用
7/2:遺伝能力をシュミレーション
- JR九州 黒字化で株式上場7/2:JR北海道との差は如何に
- トヨタ 家庭用ロボット量産 高齢者生活に補助 7/3:社会に貢献しているね
- 日本企業 売り手M&Aが急増 7/4:日本の底力が売られる
- 6月子牛相場 2ヶ月連続で下げ引き合い鈍り高値一服 7/5:高すぎるよ
- 牛丼3社 8ヶ月ぶりにそろって増収 値引き、新商品が大功
7/6:減速景気の影響
- 農業就業人口200万人割れ 7/7:就農政策欠乏

- アジア市場 化学肥料原料が低迷 設備過剰・天候不順7/7:堆肥を使おう
- コンビニ各社 鶏相場下落で鶏から揚げ販促強化
7/8:加工品の国産原料使用率UP
- 個人消費 再びデフレ色強まる 低価格専門店好調 7/9:アベノミクス
- 製紙各社 森林認証制度取得し環境保護育成 7/11:先々牧場も認証制度化
- 道内百貨店・スーパー5月販売実績14ヶ月ぶりに前年割れ
7/12:地方景気悪化先取
- 食品安全委員会 BSE検査来年度廃止で意見公募 7/13:17年か
- 天皇陛下生前退位意向 7/14:ご苦勞様でした
- トウモロコシ・大豆国際相場 天候不順で上昇気配 7/14:飼料価格への影響
- 総務省 人口減少で北海道が全国一位 7/14:寂しいね
- 新潟佐渡 全国棚田サミット開催 7/15:仕事は大変だけど景観最高
- 訪問外国人(インバウンド)需要に円高で減速感 7/15:特需は終わったか
- 東京のカフェ 野菜そのまま凍らせたカキ氷に人気 7/16:新たな需要いいね
- 農林水産省 熟練農家の技 知的財産として権利確保へ指針
7/16:百姓の技は多岐に
- 農林水産省 輸出JAS規格検討日本産の品質保証規格
7/18:制限規格にならない?
- 農林水産省 HPにて耕作放棄地活用事例を紹介 7/18:見よう
- 農林水産省 15年遊休農地13万ha 対象課税強化へ
7/20:活用策と併せてね
- 飲料メーカー カット果実を紅茶やリンゴ酢で瓶詰 新たな飲み方提案 7/22:
- 農機具メーカー LED使いジャガイモ緑化防止 7/25:LEDの活用は幅広いね
- ジェネリック農業登録制度めぐり論議
7/25:農業にジェネリックもあるのか
- ホクレン 酪農家の冬期分娩子牛の保温設備に補助 7/26:技術もね

東京直近NEWS (7/29 Shi-REPORT)

ホルス 販売状況は日々低迷している状況が強い。販売状況に比例し枝肉相場も若干弱まってきているものの、販売状況から勘案すると、枝肉相場は高値感が未だ強い。産地側は工場稼働の意図から集荷は維持継続し、集荷競争から相対の取引価格が下げきれず、販売はすこぶる悪い中、在庫が重くなりつつある。末端への販売は、ホルスの枝肉が上がったところで小売価格が引き上げられ消費者からの牛肉離れが見られる。「国産牛=ホルス」としての値ごろ感が薄れ、末端は輸入牛もしくは交雑へシフトしている状況。盆休を目前にしても、引き合いは乏しく、既に大手メーカーは在庫過多から特にモモウデは価格対応で放出しており、条件次第では経産牛と値差がない場面も聞き及ぶ。販売環境は

すこぶる悪く、8月中で回復するような兆しは見えない。

経産牛 道内の生体市場は変わらず高値安定。道内は気温も低く、廃用と畜に回る牛も少ないことが一層出回り頭数の少なさに影響ある模様。徐々に集荷頭数回復してくる時期も、不安残る状況。販売面はホルスが停滞していることで、価格訴求品が増えておりホルスでの代替え場面も増え、経産牛としてのパーツ引合いも弱まっている。挽肉需要も、売り場はミンチの棚が縮小しており輸入ものに浸食され国産は僅か。一部では、挽材原料の在庫過多から放出価格での出回り情報もあり、市況に与える影響を懸念。

左先生の畜産学研究NEWS

11月の米国大統領選により、TPPの行方は不透明になりました。政府は日本が先手を打って米国の求める再交渉を防ごうとこの秋の国会での承認を目指しています。同盟国の一つとして日本がTPPのイニシアチブを握りたいとの思いもあるでしょう、まさに経済連携協定としての性格上 外交交渉で行方や結果は変わります。日本農業も世界の趨勢を読みながらの対処が必要です。参院選も終わってみれば改憲勢力が2/3を超える結果です。これが日本国民の政治意識の表れということ。こうした中で自然の変化を読みながら将来の生産体制を維持しながら農業生産を行うのは大変なことです、真面目に考えればやりがいのあることと言えます。そういう自覚が農家には求められていると思います。e-びーふNews32号の学術情報は、以下の通りです。

1. 畜産技術(2016) #7 特集 飼料イネ: 稲発酵粗飼料専用品種

政府が米の減反政策を廃止し補助金を投入し飼料米増産にシフトしました。その背景には15年近くに及ぶ稲発酵粗飼料の研究があり、課題も以下のように明らかにされてきました。飼料用米は補助金がなければ畜産農家の求める価格に届かず、補助金ありきでない真のコスト改革が必要とされています。

1) 高糖分高消化性の稲発酵粗飼料専用品種の育種動向

(中込弘二、西農研セ)

稲発酵粗飼料用品種では「たちすずか(晩生)」「たちあやか(中生)」などが穂重が小さく茎葉割合が高く消化性向上の育種改良効果があります。飼料成分としての地上乾物中糖含量は従来種クサノホシ、ホシアオバ)の2~6倍高く、課題は、莖葉枯病抵抗性付与と極短穂種の小さい穂による採取困難の克服です。

2) 発酵粗飼料専用水稲品種「たちすずか」の栽培技術

(保科亨、広島東農技指)

「たちすずか」の穂は地上乾物重の5~15%で耐倒伏性に富み、籾収量はコサノホシの1/4で茎葉中の糖含量が高く乳酸発酵に適したWCS専用品種です。低コスト・高品質・多収生産技術を達成するために圃場選定や直播栽培・早期移植・堆肥多肥投入・雑草・病害虫防除などに取り組み、300kg×14.7/10aの多収を達成しています。

3) 高糖分高消化性WCS用稲のサイロ調整を能にする新技術!

(高橋仁康、西農研セ)

「たちすずか」の高糖分高消化性WCS用稲の特性を活かして低コスト化の実証試験をしました。飼料用稲を地上高10cmの刈取り能をもつワゴンタイプの汎用型微細断収穫機で切断長6~11mmに裁断収穫し、TMRセンターまで高密度輸送してバンカーサイロで調製する体系での低コスト化にはWCSの片道輸送時間が30分以内に牛舎等給餌施設があること、バンカーの取り出しは15cm/日以上などが必要と思われました。

4) 極短穂型品種(高糖分高消化性稲発酵粗飼料専用品種)の飼料特性と牛への給与(河野幸雄、広島総技研畜技セ)

極短穂型飼料イネの代表品種「たちすずか」のWCSについて栄養成分利用性・茎葉部の糖含量とサイレージ発酵・繊維の消化性などをTMRで検討を行い、乳・肉牛への給与試験をしました。黒毛和種肥育牛ではβカロテン低減のため11月末に収穫し5mg/DMkg以下を達成、TDN含量50.8%となるもののDMIが増し、枝肉重量やロース芯面積やBMS値で好成績となり、脂肪交雑の高い牛肉生産の可能性が示されました。

道総研 畜産試験場NEWS

「育成期および肥育期におけるサイレージ給与法」④ 全6回シリーズ

道総研 畜産試験場 肉牛グループ 遠藤 哲代

2. 現在取り組んでいる研究



試験の概要

供試牛：黒毛和種去勢牛 18頭 (40月齢、143kg)

試験処理：TMR中のNDF含量

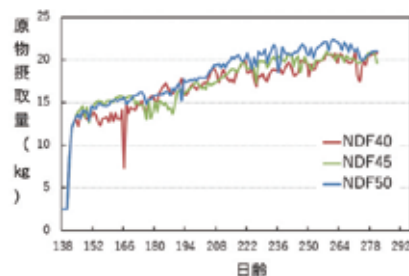
TMR組成：2番草GS・圧べんとうもろこし・大豆粕

処理	NDF 40% (6頭)	NDF 45% (6頭)	NDF 50% (6頭)
粗濃比	55:45	66.5:33.5	77:23

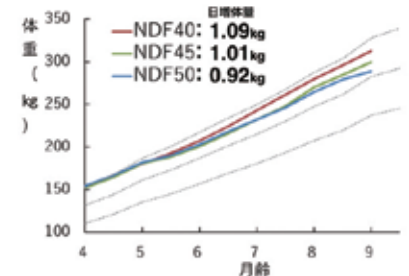
2番草GSの成分

DM : 22.5%
CP : 14.9%
NDF : 59.2%

原物摂取量の推移



体重の推移



1頭当たり飼料費の試算

	単価 (円/kg)	NDF40% (円)	NDF45% (円)	NDF50% (円)
2番草GS	8	14,566	16,042	17,749
圧べんコーン	57	21,856	15,562	10,550
大豆粕	82	7,990	6,552	5,582
合計		44,413	38,157	33,881

飼料費は、育成試験期間145日の合計